

# 第44回大分県人権・部落差別解消教育研究大会ならびに 第7回大分県人権・部落差別解消保育研究集会

## ヒューライツフォーラム2022 開催のご案内（最終案内）

公益社団法人大分県人権・部落差別解消教育研究協議会は、2004年以降県内に広く人権文化を根づかせていくため、各地からヒューライツフォーラムとして発信していくこととしました。杵築市からの発信は2度目となります。再び杵築の地で開催し、県内各地の学校や地域での人権確立をめざした実践を交流し、一人ひとりが自らの実践を振り返り、人権意識の向上や人権のまちづくりを進めます。

また、2016年に「フォーラム人権のまちづくり」が、2018年に「大分県人権・部落差別解消保育研究集会」がそれぞれ合併して、複数の大会・集会を統合して開催することになりました。このことは、乳幼児期から社会教育に至るまでの進路保障の取り組みを通して、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に向けてより多くのなかまと共有していけるように、加盟研究団体すべての協力によって実践から学び合える場づくりを保障し続けています。

大会テーマ **差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう**

地元テーマ **次の世代につなぐ人権教育のあり方を創造しよう**

開催期日 全体会 2022年10月21日（金） 13:00~16:00  
分科会 2022年10月22日（土） 10:00~15:00

会場 杵築市文化体育館 他14会場  
住所：〒873-0014 杵築市本庄2005 電話：0978-63-5558

資料代 3,500円（税込み）

### ●大会日程

|              |      |             |          |             |                                     |       |
|--------------|------|-------------|----------|-------------|-------------------------------------|-------|
|              |      |             | 12:00    | 13:00       | 14:00                               | 16:00 |
| 10/21<br>(金) | 開会準備 | 受付          | 開会行事     | 記念講演        | 一般参加者の現地参加はありません。11月からの動画を視聴してください。 |       |
|              |      | オープニング      |          |             |                                     |       |
| 10/22<br>(土) | 開場準備 | 9:30        | 10:00    | 12:20       | 13:20                               | 15:00 |
|              | 受付   | 分科会<br>実践報告 | 昼食<br>休憩 | 分科会<br>総括討論 |                                     |       |

※分科会ごとに日程を変更して開催する場合があります

### ●特別提案・記念講演

|                  |  |
|------------------|--|
| オープニング           | 浅黄半襟かけ拒否逃散一揆学習教材<br>「歩け希望の光に向かって」の朗読（2回上映） |
| ヒューライツ<br>ミュージアム | 人権啓発パネルの展示                                 |
| 記念講演             | LGBTとジェンダー・セクシュアリティを巡る人権課題<br>講師：仲岡しゅんさん   |

# HF2022分科会一覧表

| 区分                         | 分科会番号                       | 報告者  | 報告内容   | 会場施設  |
|----------------------------|-----------------------------|--|--|---|
| 乳幼児期                       | 1                           | 由布（義務制）<br>小野 恭平<br>西庄内幼稚園   | 家庭と一緒に子どもの育ちをめざして～わくわくシートを通した保護者とのつながり～<br>自分の思いを伝えられず我慢しているA児が家庭、園の中で安心して伝えることができるようになってほしいという願いから、家庭との連携、友だちとの関係づくりにねらいを置いて取り組んだ1年間の実践。                | 山香中学校<br>多目的室                                   |
|                            |                             | 講師：田口康明<br>鹿兒島県立短期大学   | 人権保育とは…<br>討議の柱にそってのグループ討議と、人権保育の研修を行います。  |   |
| 教育の創造                      | 2                           | くにさき（義務制）<br>木村 美咲子<br>志成学園  | 「行ってきます！ただいま！」<br>話しかけても何も答えず、目を合わせることのなかったゆうを担任することになり、よくも悪くも干渉しない子どもたちと、「みんなで」を合言葉につなげていくことで、互いに認め合える集団へと変容するなかで、自分自身の決めつけにも気づけた実践。                    | 八坂小学校<br>体育館                                    |
|                            |                             | 豊後高田（義務制）<br>深藏 沙織<br>高田中学校  | 「先生、何言いよん！そんなあたりまえやろ！」<br>教員生活初めての3年学級担任となった赴任3年目。何かと言動の影響力が強いAさんBさん2人の男子を3年間持ち上げるようになった。新しいメンバーで迎えた最後の中学校生活のありのままの日常の実践を報告する。                           |   |
|                            | 3                           | 豊後大野（義務制）<br>山下 真奈美<br>三重第一小学校   | 「サンクスの心」でつながるなかまづくり～「はしのうえのおおかみ」の授業実践を通して～<br>学校で実践した人間関係づくりプログラム、認めあうなかまづくりのための学級の取り組み、そして「はしのうえのおおかみ」の授業実践を通して、学級の子もたちがどう変容したかを報告します。                  | 十王教育文化会館<br>2F研修室<br><small>※上履きはいりません</small>  |
|                            |                             | 県南地区（高校）<br>佐藤 伸介<br>佐伯鶴城高校  | 「高校生による、高校生のための人権読書案内」<br>高校生の視点で自ら人権について学び、考えるための書籍を探し、生徒同志紹介する活動の途中経過について報告します。  |   |
| 4                          | 玖珠（義務制）<br>平井 麻理<br>東飯田小学校  | 「手を離していく」という支援<br>Aさんが意思表示できるようになるまでの取り組みを通して、手を出しすぎるのではなく、徐々に「手を離していく」というサポートが子どもの自信に繋がりを、自立に繋がっていくことを学んだ。                  | 山香小学校<br>体育館   |   |
|                            | 国速杵地区（高校）<br>井ノ上 義弘<br>杵築高校 | 「人間関係づくりプログラムに関する報告」<br>2021年度から県下一斉に「人間関係づくりプログラム」が始まった。どの学校も試行錯誤しながら短時間の制約の中で取り組みを進めている。杵築高校の取り組みを紹介し、今後のための検討材料としていただきたい。 |  |   |
| 自主活動                       | 5                           | 中津（義務制）<br>佐伯 竜平<br>鶴居小学校  | 『来週から、Aさんが来ます。』～外国にルーツを持つ子どもの受け入れと体制づくり～<br>イエメンから転入することとなったAさん。日本語・英語も全く話せない状況で、隣接校や外部支援団体、日本語指導員の力を借りながら具体的な支援にこぎつけ、笑顔で「マルハバン！（ようこそ）」と彼を迎えた報告。         | 杵築中学校<br>体育館                                    |
|                            |                             | 臼杵（義務制）<br>池見 竜治<br>下北小学校  | みんなが笑顔でいられる学級とは～Aさんとの関わりを中心に～<br>子どもたち全員が笑顔でいられるような学級をめざしてとりくみをすすめてきたつもりだった。しかし子どもたちはそうは感じてはいなかった。子どもたちにとって何が必要なかを考え実践してきた日々の報告。                         |   |
|                            | 6                           | 宇佐（義務制）<br>堀之内 博史<br>宇佐中学校   | 一人ひとりが大切にされる学校づくりをめざして～人権集会の取組を通して～<br>宇佐中学校の人権集会に関わる実践報告。子どもたちの実態に即し、本当に子どもたちにとって実りある人権・部落差別解消教育とは何かを模索する中で、子どもたちのなかまづくり、教職員集団のなかまづくりを見つめ直したレポート。       | 文化体育館<br>アリーナ                                   |
|                            |                             | 久大地区（高校）<br>長尾 秀之<br>中津東高校   | 「日田地区解放学習会」<br>一度途切れた解放学習会を再び立ち上げることができた。親の思いに打たれしかりしなげればと思った。出口を引き受ける高校としては、「解放学習会」での強い絆を基本にして「差別に負けない子ども」を育てていく必要があると思う。                               |   |
|                            | 7                           | 速見（義務制）<br>米野 理恵子<br>藤原小学校   | みんな、わたしばかりせめる～さおりが安心して生活できるように<br>周りに誤解されやすいさおり。読み聞かせや保健の授業を通して多様性を認め、自己肯定感を高めることによって、さおりの思いに気づき、寄り添えるなかまをつくっていった実践の報告。                                  | 大田小学校<br>体育館                                    |
|                            |                             | 竹田（義務制）<br>安部 圭助<br>竹田南部中学校  | 豊かな人間性と資質・能力を備え、夢に挑戦し続ける生徒の育成をめざして<br>2019年度より「人間関係づくりプログラム」を学校全体で継続してとり組んでいる。活動内容を増やしたり生徒主体のとり組みにしたりするなど活動の進化をはかり、全校誰とでも考えを伝え合い、その考えを認め合える集団づくりを進めている。  |   |
|                            | 8                           | 別府（義務制）<br>岩尾 華奈<br>南小学校   | お互いを認め合い、安心できるクラスづくりをめざして<br>学校生活でのいろいろな困りや不安を言葉にすることができず、その気持ちが態度や行動に表れるAさん。そんなAさんの思いに寄り添った支援と変容、クラスの友だちとの関わりについて報告する。                                  | 健康福祉センター<br>多目的ホール<br><small>※上履きはいりません</small> |
|                            |                             | 日田（義務制）<br>木下 絵梨<br>若宮小学校  | 言葉でつながりたい～「表現をためらわない」「自分らしく」～<br>「言葉」を磨こう、「言葉」でつなごう・つながろうと、言葉にこだわってきた。委員会活動や1年生での学級で、言葉を大切に、考える力・表現する力・認める力を育てよう取り組んだ実践。                                 |   |
|                            | 9                           | 佐伯（義務制）<br>田中 勇介<br>挾間小学校  | きらきら みんなの ちからを あわせよう～ところがきゅーってなる取り組みを通して～<br>同じこども園から入学してきた7名の1年生。一緒に過ごす中で感じた子どもたちの成長と、そこから見えてきた課題について、「落ち着きがなく、気分が乗らないと活動できなかったAさん」と周りの子どもたちの変容をまとめました。 | 杵築高等学校<br>体育館                                   |
| 大分（義務制）<br>小野 大介<br>東大分小学校 |                             | 子どもたちがつながる学級をめざして<br>過去に、言葉による差別を受け、一人でのいることの多かったAさん。そんなAさんに寄りそいながら、彼女を含め、だれもが過ごしやすい学級をめざし、人間関係づくりプログラムをとり入れた実践の報告。          |  |   |

| 区分      | 分科会<br>番号                       | 報告者  | 報告内容   | 会場施設  |
|---------|---------------------------------|--|--|---|
| 進路・学力保障 | 10                              | 杵築（義務制）<br>阿部 起也<br>東小学校   | 「どうせ俺はできんし」～Aさんの困りに、個と集団から寄り添う～<br>「分からん」「できん」と学習を放棄し、よくない行動で注目を浴びて存在感を得るAさん。Aさんの困りに寄り添いながら、Aさんの良さを見出し、肯定的感情を個人、そして、集団に広げていくよう試みた実践。                 | 東小学校<br>体育館                                 |
|         |                                 | 宇高地区（高校）<br>築島 香織<br>高田高校  | 居場所となるホームルームをめざして～「思いやりの心」を持ったクラスへ～<br>中学時代から別室登校が続いていたAさん。高校入学を期に、教室に入ることにはチャレンジした。つらさや苦しさを感じながらも、他者とコミュニケーションを取り、学習活動や特別活動に取り組んだ実践例の報告。            |   |
|         | 11                              | 津久見（義務制）<br>平野 みちる<br>県立聾学校  | いつも子どもを真ん中に～みど・みのの変容を通して変わったこと～<br>「みんなと同じように」に傾倒しかけてしまう私に、「一人ひとりの子どもを大事にする」「個別に支援する」ということはどういふことを気づかせてくれた母親。そして、みどりとみのりを真ん中にして、同僚といっしょに取り組んだ2年間の実践。 | 宗近中学校<br>体育館                                |
|         |                                 | 豊肥地区（高校）<br>竹永 勝<br>稲葉学園高校   | 「不登校」・「発達特性」の生徒との関わり<br>県内はもとより県外からの入学生が多く、入学する前に友人関係のトラブル、保健室・適応指導教室登校、不登校などで悩み・苦しみ、学力面・生活面で自信を無くしている。本校でどのように変わるのか具体例を挙げる。                         |   |
|         | 12                              | 大分地区（高校）<br>成松 好一郎<br>鶴崎工業高校   | 100%の進路実現をめざして<br>「社会とつながる鶴崎工業」のキャッチフレーズのもと、5つの学科で専門分野の知識・技術の習得をめざし、学校全体で学力向上や資格取得に励んでいます。その中で色覚特性等の生徒の就職支援の取り組みを報告します。                              | 山香庁舎3F<br>多目的ホール<br>(山香中央公民館)<br>※上履きはいりません |
|         |                                 | 中津地区（高校）<br>久本 見二<br>中津南高校   | 困りや課題を抱えた生徒と関わって感じた事<br>これまで関わった困りや課題を抱えた生徒の中には、進路変更する者や悩みながらも卒業していった者がいた。自分は彼らと真に向き合ってきたのか。自分自身の関わり、校内の取り組みや連携、担任の向き合い方を考えてみた。                      |   |
| 13      | 別府地区（高校）<br>友永 愛津子<br>別府支援学校鶴見校 | 「お兄ちゃんみたいに働きたい」～別府支援学校鶴見校生徒の進路支援<br>「学校を卒業したら…？」の不安を抱えながら、ようやく自分のしたいことに向き合うことができたTさん。卒業までに目標を達成するには障壁が存在したが、時間をかけてでも夢にむかう力を育む進路支援に取り組んだ。 | 杵築小学校<br>体育館   |   |
|         | 県人教推薦<br>上尾 茂<br>鶴崎中学校          | ゆうきくんと3年間～不登校生の進路保障のあり方を探って～<br>学校内外の繋がりによって子どもの困りと向き合い、登校・不登校に関係なく子どもたちを繋げる学級づくりの実践。そして、子どもと保護者とともに確かめていった進路実現の取り組みの報告と課題提起。            |  |   |
| 学習・啓発   | 14                              | 臼杵市（社会教育）<br>和田 敬生、柳井 信一<br>臼杵市社会教育課   | 臼杵市教育委員会 社会教育課の部落差別解消推進・人権教育の取り組みについて<br>各関係団体と連携を図りながら、「人権研修会の開催」「人権講師の派遣」「関係団体職員研修」の3本柱で、人権意識の向上や人権啓発に取り組んでいます。                                    | 山香庁舎2F<br>大会議室<br>※上履きはいりません                |
|         |                                 | 九重町（社会教育）<br>井上 直樹<br>九重町社会教育課   | 「九重町における人権教育・啓発の現状と課題」<br>九重町社会教育課では主にPTAを対象とし、部落差別解消・人権啓発を進めるための連続講座「なるほど“ザ”人権講座」を実施している。その取り組みから新たな人権啓発と教育の担い手を育てる取り組みの報告。                         |   |
| まちづくり   | 15                              | 講師：帯刀浩至<br>杵築市社会教育課  | 「浅黄半襟掛け拒否逃散一揆」に学ぶ<br>マイクロバスを使ったフィールドワークと、教材化に向けた人権講座を併催します。フィールドワークについては、杵築市人権啓発・部落差別解消推進課が支援します。  | 杵築市隣保館<br>集会室                               |

### ★感染対策について

- ・入場時に非接触型体温計で検温し、37.5℃以上の場合には接触型体温計で再検温します。  
その時も37.5℃以上だった場合には現地研修を取りやめていただきます。
- ・乗り合わせでご来場いただいている場合には、同乗者も現地研修を取りやめていただきます。
- ・手指消毒や常時換気等を心がけていますので、温度の変化に対応できる服装でご来場ください。
- ・各施設では、スリッパ等の貸出や喫煙所の設置を行いません。
- ・各施設には、施設内で昼食をとることができるように依頼していますが、各自でマスク会食等の感染対策にご協力ください。
- ・分科会会場の近くにお店が少ない場合もありますので、事前に昼食の準備をお願いします。会場での弁当の販売も行いません。

### ★分科会会場について

- ・分科会会場間の移動は認めていません。事前に申し込まれた分科会での学びの場づくりにご協力ください。
- ・靴や傘等は、ビニール袋を準備しますので、各自で保持してご参加してください。
- ・子どもたちの学びの場や市民の集いの場を会場としてお借りしていますので、ゴミは各自でお持ち帰りください。
- ・片付けにもご協力いただけますと幸いです。



## ●動画配信

今大会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の一環として、全体会の現地参加者を、各地区研究会等から事前に推薦していただいた数名の参加者のみとし、ほぼすべての一般参加者を動画配信での参加としました。

| 配信期間 |               | 2022年11月1日（火）から2023年1月31日（火）まで                     |
|------|---------------|--|
| 1    | 主催者<br>あいさつ   | 公益社団法人大分県人権・部落差別解消教育研究協議会<br>会 長 後藤 哲郎             |
| 2    | 主催者<br>あいさつ   | 大分県人権・部落差別解消保育連絡協議会<br>会 長 佐藤 成己                   |
| 3    | 共催者<br>あいさつ   | 杵築市 市 長 永松 悟                                       |
| 4    | 実行委員長<br>あいさつ | ヒューライツフォーラム2022実行委員会<br>実行委員長 清末 陽一                |
| 5    | 基調提案          | 公益社団法人大分県人権・部落差別解消教育研究協議会<br>事務局員 時枝 武敏            |
| 6    | 記念講演          | 「LGBTとジェンダー・セクシュアリティを巡る人権課題」<br>うるわ総合法律事務所 仲岡しゅんさん |



大分県人教HPに動画配信ページを公開しています。

動画配信ページURL [【http://kjkoiita.jp/?page\\_id=1691】](http://kjkoiita.jp/?page_id=1691)

大会冊子に掲載されているパスワードを入力してご覧ください。

- 主催 公益社団法人大分県人権・部落差別解消教育研究協議会  
大分県人権・部落差別解消保育連絡協議会
- 共催 杵築市 杵築市教育委員会 ヒューライツフォーラム2022実行委員会
- 後援 朝日新聞大分総局 / 一般財団法人分県教育会館 / 一般財団法人分県私学協会 / 一般社団法人大分県身体障害者福祉協会 / NHK大分放送局 / エフエム大分 / 大分県 / 大分県教育委員会 / 大分県教職員組合 / 大分県高等学校教職員組合 / 大分県高等学校PTA連合会 / 大分県公立学校教頭会 / 大分県公立高等学校教職員組合 / 大分県国公立幼稚園・こども園会 / 大分県国公立幼稚園・こども園PTA連合会 / 大分県市長会 / 大分県市町村教育長協議会 / 大分県児童養護施設協議会 / 大分県小学校長会 / 大分県商工会議所連合会 / 大分県商工会連合会 / 大分県中学校長会 / 大分県町村会 / 大分県PTA連合会 / 大分県保育連合会 / 大分県立学校事務長会 / 大分県立学校長協会 / 大分県隣保館連絡協議会 / 大分工業高等専門学校 / 大分合同新聞社 / OAB大分朝日放送 / OBS大分放送 / 学校法人溝部学園別府溝部学園短期大学 / 株式会社テレビ大分 / 公立大学法人大分県立芸術文化短期大学 / 国立大学法人大分大学 / 社会福祉法人大分県社会福祉協議会 / 社会福祉法人大分県聴覚障害者協会 / 社会福祉法人大分県盲人協会 / 西日本新聞大分総局 / 日本文理大学 / 部落解放共闘大分県民会議 / 部落解放同盟大分県連合会 / 別府大学 / 毎日新聞社 / 読売新聞西部本社

※五十音順に紹介（全46団体）

【お問い合わせ先】 公益社団法人 大分県人権・部落差別解消教育研究協議会

《住所》〒870-0951 大分市下郡496-38 大分県教育会館2階

《電話》097-556-1012